冬に流行する感染症① 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は感染症法上5類へ移行しましたが、性質が変わったわけではありません。感染経路は、①飛沫感染②エアロゾル感染③接触感染です。基本的な感染対策を確実に行い、感染予防に努めましょう。

基本となる感染対策

- 手指衛生の徹底：すべての患者への対応において、流水・石けん、またはアルコール製剤による手指衛生が基本となります。
- 患者の分離とマスク着用：発熱や呼吸器症状がある方は、可能な限り時間・動線を分け、サージカルマスクの着用をお願いしてください。
- 個人防護具の適切な選択：診察や処置の際は、症状に合わせてマスク、アイシールド、手袋、エプロンを正しく着用しましょう。
- 定期的な換気と消毒：待合室・診察室はこまめに換気を行い、ドアノブや受付台など手がよく触れる場所は清拭消毒をします。
- 来院前の事前連絡の呼びかけ：院内掲示や問診票などを活用し、来院前の体調確認と、症状がある場合の事前連絡をお願いしましょう。

個人防護具

個人防護具	サージカルマスク	N95マスク	手袋	ガウン	眼の保護
診察	○	△	△	△	△
検体採取	○	△	○	△	△
エアロゾル産生手技	-	○	○	○	○

○＝通常は着用を推奨
△＝原則不要。曝露リスクがある場合に着用を推奨
※1 COVID19患者と同一区間で診察・看護を行う場合は装着を考慮
※2 患者、周辺環境(ベッド等)との身体的接触や血液・体液汚染が生じない場合、手袋、ガウンは不要
※3 飛沫が眼に入るリスクがある場合は眼の防護具を着用

予防接種

- 定期接種は65歳以上もしくは60～64歳の基礎疾患のある方
- 対象外の方は「任意接種」として接種可能：定期接種の対象に含まれない方でも、希望すれば任意接種（自己負担）で受けることができます。
- 医師が必要と認めた場合は、季節性インフルエンザワクチンなど他のワクチンと同日に接種を受けることが可能です。

治療

- 健康な若年成人の場合、多くは解熱鎮痛薬の服用、十分な水分補給と安静（対症療法）で自然に回復します。
- 重症化リスクのある方への治療：高齢者や基礎疾患（糖尿病、心疾患など）等がある方には、重症化を防ぐための抗ウイルス薬（ゾコーバ、パキロビッド、ラゲブリオなど）の処方を検討します。

群馬県感染症対策連絡協議会　ICN分科会